

個人住民税

1. 給与支払報告書パンチ入力仕様（令和 9 年度版）

1.1. 概要

給与支払報告書については、以下のようなかたまりで送付されてきます。

- ① 表紙..... 冊号シールが貼ってあるもの
- ② 総括表..... 総括表
- ③ 仕切紙..... 同一事業所内で徴収区分（特徴・普徴）を区別するために使用
- ④ 給与支払報告書

- ① が大枠で②が中枠、④が明細となります。

この内容で、CSV 形式（カンマ編集）でレコードを出力します。

1.2. 実際のパンチ

1.2.1. 表紙の入力 (①)

表紙には、バッチ連番・件数・徴収区分・入力区分・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分..... 1（冊号）を入力
- ➡ バッチ連番..... ①冊号に記入してある数値を入力
- ➡ 件数..... ②表紙に記入してある件数を入力
- ※件数入力する市町村のみ使用
- ➡ 徴収区分..... ③資料区分にチェックをつけてある名称により入力
(特徴・・・2、普徴・専給・・・1)
- ➡ 入力区分..... 3 0
 - ➡ 不明フラグ..... イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号..... スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ➡ 年調区分..... ④年調区分の番号を入力
(年調済みにチェックがあれば1、年調無しにチェックがあれば0を入力)

1.2.2. 総括表の入力 (②)

総括表には、事業所番号（指定番号）・人数・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分 2（総括表）を入力
- ➡ 件数（合計件数） ③総括表に記入してある件数を入力。
※件数入力する市町村のみ使用
- ➡ 指定番号 ⑤指定番号を入力
※普徴給報などで指定番号不明な場合は、ALL9 を入力
別途、取り決めがある場合はその番号を入力
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ➡ 個人番号又は法人番号 ⑥個人番号及び法人番号を入力

1.2.3. 仕切紙の入力 (③)

仕切紙には、徴収区分（特別徴収、普通徴収）が記入されています。

- ➡ 区分 4（仕切紙）を入力
- ➡ 徴収区分 ①「特別徴収」または「特徴」と記載されていれば2を入力
「普通徴収」または「普徴」と記載されていれば1を入力
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用

1.2.4. 給与支払報告書の入力 (④)

明細の給与支払報告書については、サンプルに数字を振ってありますので、その個所をパンチします。

- ㊦ 区分 3 (給報) を入力
- ㊦ 整理番号 ⑥記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 受給者番号 ⑦〃
- ㊦ パンチカナ氏名 ⑧記入があればパンチ、なければ入力なし (半角カナで入力)

※ 姓名の間に 1 スペース入れてください。

※ 「ー」(長音)については「- (ハイフン)」 「ー (長音)」 いずれの入力でも可能です。

- ㊦ パンチ生年月日 54 和暦 7 桁で入力する。

年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。

(元号：明治、明、M…1、大正、大、T…2、昭和、昭、S…3、平成、平、H…4、令和、令、R…5)

(例：昭和 4 5 年 3 月 2 7 日だった場合→3450327 と入力する。)

- ㊦ 資料番号 55 に入力があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 徴収区分 入力なし
- ㊦ 普徴区分 ⑨種別 (上段中央) に 2、5 と赤書き記入されていたらそのままの

値をいれる。なければ入力なし。但し、専従の束では 1 冊全てに「2」を入力。

- ㊦ 支払金額 ⑩記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 給与所得控除後の金額 (調整控除後) ⑪記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 所得控除合計額 ⑫記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 源泉徴収税額 ⑬記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 控対配あり ⑭にサイン (1、*、o等) があるとき 1、なければ入力なし
- ㊦ 控対配老人 ⑮にサイン (1、*、o等) があるとき 1、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者(特別)控除 ⑯に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 扶養特定 ⑰に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養同居老親 ⑱に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養老人合計 ⑲に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養一般 21 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害同居 22 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害合計 23 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ その他障害 24 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 社会保険料控除 25 に記入があればその金額、なければ入力なし

※社会保険料等の金額の下段 (1 段のみの場合は社会保険料控除とする。)

- ㊦ 小規模企業共済等掛金控除 2 段書きで 26 に記入があればその金額、なければ入力なし

※社会保険料等の金額の上段 (1 段のみの場合は社会保険料控除とする。)

- ㊦ 生命保険料控除 27 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 地震保険料控除 28 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 住宅取得等特別控除 29 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 前職分給与支払額 35 のあたりにある前職分給与 ??? 円 といった記入に対して
「赤○・赤下線・ピンクマーカーがある場合や、赤字で記入がある場合」にはその金額、なければ入力なし

- ㊦ 配偶者所得..... 30 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 新生命保険料支払額 66 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 旧生命保険料支払額 67 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 介護医療保険料支払額..... 68 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 新個人年金保険料支払額 69 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 旧個人年金保険料支払額 31 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 旧長期損害保険料支払額 32 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 本人未成年者 37 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 乙欄区分 38 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人特別障害 39 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人その他障害 40 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人寡婦 42 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人寡婦（特別） 入力なし
- ㊦ 本人寡夫 入力なし
- ㊦ 本人勤労学生 45 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人死亡退職 46 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人災害者..... 47 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人外国人..... 48 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 就職区分 49 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 退職区分 50 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 年・月・日..... 51・52・53 に記入があればそれぞれの記入内容を入力、なければ
入力なし（YYMMDD(和暦（元号なし）前0つきの6桁で入力）
力))
- ㊦ 不明フラグ..... 年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ㊦ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ㊦ 国民年金保険料等の金額..... 56 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 住宅借入金等控除可能額 57 に記入があればその金額、なければ入力なし。
- ㊦ 居住開始年 1 58 に記入があれば、年の内容を入力。なければ入力なし。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
- ㊦ 居住開始月 1 58 に記入があれば、月の内容を入力。なければ入力なし。
- ㊦ 居住開始日 1 58 に記入があれば、日の内容を入力。なければ入力なし。
- ㊦ 住宅借入金等特別控除区分 1 59 に赤字でコードの記入があれば、記入されている数値を入力。
- ㊦ 借入金等年末残高 1 60 に記入があれば、記入されている金額を入力。
- ㊦ 居住開始年 2 61 に記入があれば、年の内容を入力。なければ入力なし。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
- ㊦ 居住開始月 2 61 に記入があれば、月の内容を入力。なければ入力なし。
- ㊦ 居住開始日 2 61 に記入があれば、日の内容を入力。なければ入力なし。
- ㊦ 住宅借入金等特別控除区分 2 62 に赤字でコードの記入があれば、記入されている数値を入力。
- ㊦ 借入金等年末残高 2 63 に記入があれば、記入されている金額を入力。

- 住宅借入金等特別控除適用数 64 に記入があれば、記入されている数値を入力。
- 16 歳未満扶養親族 65 に記入があれば、記入されている数値を入力。
- 訂正区分 70 摘要欄に訂正等の文字があり赤○されていれば、1 を入力。
- 条約免除区分 71 摘要欄に「○○条約○○条該当」等の文字があり赤○されて
いれば、1 を入力。
- 個人番号 76 に記載されている番号を入力
- 配偶者の個人番号 77 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の個人番号 1 78 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の個人番号 2 79 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の個人番号 3 80 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の個人番号 4 81 に記載されている番号を入力
- 16 歳未満の個人番号 1 82 に記載されている番号を入力
- 16 歳未満の個人番号 2 83 に記載されている番号を入力
- 16 歳未満の個人番号 3 84 に記載されている番号を入力
- 16 歳未満の個人番号 4 85 に記載されている番号を入力
- 扶養親族欄外の個人番号記載有無 86 に文字及び番号が記載されていれば 1 を入力
- 16 歳未満欄外の個人番号記載有無 87 に文字及び番号が記載されていれば 1 を入力
- 非居住者である親族の数 88 に記載されている数値を入力
- 基礎控除 89 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 所得金額調整控除 90 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ひとり親 91 にサイン（1、*、○等）があれば 1、なければ入力なし
- 源泉徴収時所得税減税控除済額 92 摘要欄に「源泉徴収時所得税減税控除済額○○円」とあれば、
その金額、なければ入力なし
- 控除外額 93 摘要欄に「控除外額○○円」とあればその金額、なければ
入力なし
- 非控除対象配偶者減税有 94 摘要欄にサイン（非控除対象配偶者減税有、減税有○○(同配)）
があれば 1、なければ入力なし
- 特定親族 95 に記載されている番号を入力
- 特定親族特別控除 96 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の区分 1 97 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の区分 2 98 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の区分 3 99 に記載されている番号を入力
- 扶養親族の区分 4 100 に記載されている番号を入力

※住宅借入金等特別控除区分 1、2 のコード詳細は以下のとおりです。

- 1・・・住（住宅借入金等特別控除）
- 2・・・認（認定長期優良住宅）
- 3・・・増（特定増改築等）
- 4・・・震（震災特例法第 16 条適用）
- 11・・・住（特） ※特定取得
- 12・・・認（特） ※特定取得
- 13・・・増（特） ※特定取得

- 21・・・住（特特）※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 22・・・認（特特）※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 24・・・震（特特）※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 31・・・住（特特特）※特例特別特例取得
- 32・・・認（特特特）※特例特別特例取得
- 34・・・震（特特特）※特例特別特例取得
- 41・・・住（特家）※特例居住用家屋
- 42・・・認（特家）※特例居住用家屋
- 44・・・震（特家）※特例居住用家屋

1.2.5. 給与支払報告書の入力（未入力分）※イメージパンチを行う場合のみ使用します。

様式が違う等の理由により、内容が入力できなかった資料です。資料を枠だけパンチします。

※不明フラグ9のデータ

- ➡ 区分 3（給報）を入力
- ➡ 不明フラグ 9
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力

1.3. イメージ番号について

J A 0 5 0 K K K K N N N N N N （K K K K：管理 NO N N N N N N：管理 NO 毎の連番）

（例）J A 0 5 0 1 0 0 1 0 0 0 0 5 0・・・管理 NO が 1 0 0 1、連番が 5 0 の資料

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

※ハイフンは必要ありません。

※スキャニングを行わない場合は入力する必要はありません

1.4. 不明フラグについて

イメージパンチを行うときのみ使用してください。（フセン処理の代わりとして用いる項目です。）

入力する明細の内容により、以下の番号を入力してください

- 0 ... 入力に問題なし。
- 1 ... 要確認（ある程度中身のパンチをしているが、確認をしていただく項目がある）
 - ※項目の一部が確実に判断できない場合など。
- 9 ... 未入力（資料を枠だけパンチしているので、実際に入力が必要な資料が確認していただく必要がある）
 - ※ 複写分が混じっていた場合や、異なる様式の資料であった場合。
 - ※ 入力が必要な項目は、1.2.5.給与支払報告書の入力（未入力分）を参照してください。

◎ 表紙

冊号			①		件数			②											
資料区分	☐ 給報 (☐ 特徴 ・ ☐ 普徴 ・ ☐ 専従) ③																		
	☐ 年報																		
	☐ 簡易申告書																		
年調区分		☐ 1. 年調済み ④ ☐ 2. 年調なし																	
分類	入力区分			指定番号															

※この用紙をパンチ入力資料冊子の 1 枚目に添付します。

※年報で、事業所毎に管理する分では、事業所単位で添付と指定番号の記入が必要です。

※年報で、事業所毎に管理しない分では、指定番号は空欄にしてください。

1

◎ 総括表

令和 給与支払報告書（総括表）

年 月 日提出

指 定 番 号
⑤

給与の支払期間	令和 年 月分から 月分まで		
給与支払者の 個人番号又は法人番号	⑥		
フリガナ		事業種目	
給与支払者の 名称又は氏名		受給者員	人
所得税の源泉徴収 をしている事務所 又は事業所の名称		特別徴収対象者	人
フリガナ		報告 普通徴収対象者 (退職者)	人
同上の所在地	郵便番号	人員 普通徴収対象者 (退職者を除く)	人
給与支払者が 法人である場合 の代表者の氏名		報告人員の合計	③ 人
連絡者の氏名、 所属課、係名 及び電話番号	課 係 氏名 (電話)	所 税 務 署 轄 名	税務署
関与税理士氏名	氏名 (電話)	給与の支払方法 及びその期日	
		納入書の送付	必要 ・ 不要

(〇〇市提出用)

◎ 仕切り紙

区分 4 給与支払報告書仕切り紙①

4 - 1

① ☐ 特別徴収者 _____ 人	
住民税の<u>特別徴収（給与天引きする人）</u>の給与支払報告書はこの用紙以降に綴じて提出してください。 ※給与支払報告書は、下記の順に綴ってください。 総括表 仕切り紙① 特徴給報 仕切り紙② 普徴給報 → この用紙はここにはさみこんでください。	
① ☐ 普通徴収者 _____ 人	
住民税の<u>普通徴収（給与天引きしない人）</u>の給与支払報告書はこの用紙以降に綴じて提出してください。 ※給与支払報告書は、下記の順に綴ってください。 総括表 仕切り紙① 特徴給報 仕切り紙② 普徴給報 → この用紙はここにはさみこんでください。	

◎ 仕切り紙（普通徴収申請書など）

※普通徴収の仕切り紙の代わりとして使用する

普通徴収申請書		
〇〇市長あて		指定番号
		事業者名
この用紙以降の者は、下記理由で特別徴収できないため、普通徴収として申請します。		
略号	申請理由（下記 7 項目以外の理由は不可）	人数
A	給与の支払期間が 1 月を超える期間によって定められている給与のみ	人
B	外国航路を航行する船舶の乗組員で、1 月を超える期間以上乗船するため慣行として不定期	人
C	総受給者数（乙欄・退職者を除いた合計）が 2 名以下	人
D	退職している（又は 5 月末日までに退職予定）	人
E	給与が少なく個人住民税額が引ききれない	人
F	給与の支払いが不定期又は通年の雇用ではない	人
G	他の事業所で特別徴収をする（乙欄該当者）	人
普通徴収申請者 合計人数		人
～重要～ ○この申請書は、普通徴収申請者（特別徴収できない人）の個人別明細書の上に付けて提出してください。 ○普通徴収申請者の個人別明細書摘要欄には、必ず略号（A～G）を記入してください。		

※										※種別										※整理番号										※																																																																					
										9										6																																																																															
支払を受ける者	住所	※区分										(受給者番号) 7																																																																																							
												(個人番号) 76																																																																																							
												(役職名)																																																																																							
												氏名 (フリガナ) 8																																																																																							
種別										支払金額										給与所得控除後の金額 (調整控除後)										所得控除の額の合計額										源泉徴収税額																																																											
										10										11										12										13																																																											
(源泉)控除対象配偶者の有無等										配偶者(特別)控除の額										控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)										16歳未満扶養親族の数										障害者の数 (本人を除く。)										非居住者である親族の数																																																	
										老人										特 定 老 人 その他 特 親																				特 別 その他																																																											
有 従有										人 従人										内 人 従人										人 従人										人 従人										人 従人										人 従人										人 従人																													
14										16										17										18										19 20										21										95										65										22 23 24										88									
特定親族特別控除の額										社会保険料等の金額										生命保険料の控除額										地震保険料の控除額										住宅借入金等特別控除の額																																																											
96										26 25										27										28										29																																																											
(摘要) 70 71 92 93 94																																								35 前職分給与 円																																																											
生命保険料の金額の内訳										新生命保険料の金額 66 円										旧生命保険料の金額 67 円										介護医療保険料の金額 68 円										新個人年金保険料の金額 69 円										旧個人年金保険料の金額 31 円																																																	
住宅借入金等特別控除の額の内訳										住宅借入金等特別控除適用数 64										居住開始年月日(1回目) 58										住宅借入金等特別控除区分(1回目) 59										住宅借入金等年末残高(1回目) 60 円																																																											
										住宅借入金等特別控除可能額 57 円										居住開始年月日(2回目) 61										住宅借入金等特別控除区分(2回目) 62										住宅借入金等年末残高(2回目) 63 円																																																											
(源泉・特別)控除対象配偶者										(フリガナ) 氏名 区分										配偶者の合計所得 30 円										国民年金保険料等の金額 56 円										旧長期損害保険料の金額 32 円																																																											
										個人番号 77																				基礎控除の額 89 円										所得金額調整控除額 90 円																																																											
控除対象扶養親族										(フリガナ) 氏名 区分 97										16歳未満の扶養親族										(フリガナ) 氏名 区分										5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号 86																																																											
																														(フリガナ) 氏名 区分 98																																																																					
																														(フリガナ) 氏名 区分 99																																																																					
																														(フリガナ) 氏名 区分 100																																																																					
																														(フリガナ) 氏名 区分 81																				(フリガナ) 氏名 区分 85										5人目以降の16歳未満の扶養親族等の個人番号 87																																							
																														(フリガナ) 氏名 区分 82																				(フリガナ) 氏名 区分 83																																																	
																														(フリガナ) 氏名 区分 84																				(フリガナ) 氏名 区分 85																																																	
																														(フリガナ) 氏名 区分 86																				(フリガナ) 氏名 区分 87																																																	
未成年者										外国人										死亡退職										災害者										乙欄										本人が障害者 特 別 そ の 他										寡婦										ひとり親										勤労学生																			
37										4																																																																																									